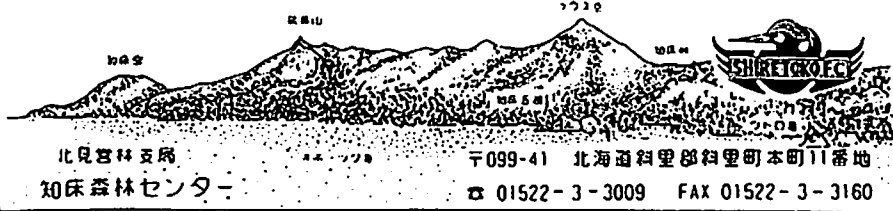


知床の森から



新年あけましておめでとうございます

厳しい冬の、凛とした静けさの中、知床の山々を赤くそめて平成四年の初日ガのぼりました。皆様にはご家族共々つつがなく新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様のご支援をいただき、おかげをもちまして当センターの行事には毎回多くの方の参加が得られ、大変うれしく思っております。しかし同時に幅の広い内容への取組み、たとえば、体験林業や別の森林への案内等のご要望、さらには行事のマナー化を心配されたご忠告も頂いており、当センター飛躍のための大きな課題と受けとめております。

知床の森林には、原生的自然があやなす景観や動物達とのふれあいななどの「自然のうつくしさ」があります。本年も各種事業を通じ、この自然のうつくしさを体験していただけるよう、また森林資源の大切さをお伝えできるよう職員一同頑張っておりたいと思っております。

旧年に借しますご指導、ご支援の程お願い申し上げます。

今 知床森林センターは / = 冬季も休まず気象観測 =

斜里町からウトロへ向かい約25kmの国有林内「択伐施業指標林」に気象観測定点を設置し自記記録計により、日々の気温・湿度・雨量（冬季は積雪量）を観測しており、一週間に一度の記録紙の取替えは冬季も休まず続けています。

冬季は休止林道となって除雪が行われず、スノーモビルを使用して行くのですが、時にはスノーモビルも走行困難となる程の積雪をみることもあります。こんな時は上り2時間程の額に大汗かいてのスキー行となるのですが、知床の森林を維持・管理していくうえで基礎的かつ重要な資料を収集しているのだと言う意気込みをもって毎週記録紙の取替えに山へ向かっています。



シリーズ 知床八景

⑦ フレペの滝

「フレペ」とは、アイヌ語で「赤い水」の意味を持ち、硫黄や鉄分を含み手を入れると赤く染まったことからこの名がつけられている。しかし、澄んだきれいな水である。

ウトロ灯台近くの垂直に切り立った断崖にあり岩のわれ目からしみだし、シトシト流れ落ちる様は正に乙女の流す涙に似ていることから



「乙女の涙」の別名が付けられ、この名の方が親しまれている。

フレペの滝展望台から後ろを振り返ると、羅臼岳から硫黄山に至る知床の山々を望むことができ。知床自然センター及び国道から歩道が整備され、手軽に楽しむことができるが、エソヒグマ等の野生動物たちの生息域でもあり、注意標識等の指示を守って楽しみたいものである。

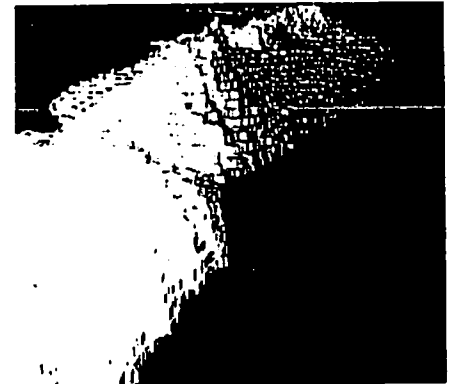


知床半島の立体模型 外郭をあらわす

知床半島は「秘境」の名のとおり、全域を訪ねて歩くことは不可能に近く、これまでは写真及び地図で全体像を想像して頂くだけでしたが、知床の起伏に富んだ立体地形をイメージし、理解を深めていただく一助にしたいとの期待をこめて昨年来、作業を進めている知床半島の立体模型作りも順調に進み、半島の外郭が見えてきました。

2万5千分の一の地形図を用い、発泡スチロールの板をコンター毎に切抜き、現在は積重ねただけの姿ですが、それでも急峻な地形、複雑に入り組んだ谷などが目の前に現れています。

細部仕上げ、塗装などの作業がまだ残っていますが、来訪者に、一時でも早くお披露目できるよう頑張っているところです。お楽しみに /



職員転出のお知らせ

当センターで活躍していただいた 村上 裕・安部川浩二 の両氏は12月1日付けで下記にそれぞれ転出しました。センター在動中はお二人へのご指導ご支援ありがとうございました。

村上 裕氏 網走営林署 (網走市南10条西2丁目)
安部川浩二氏 佐呂間営林署 (常呂郡佐呂間町永代町)